

◆横浜市企業向け人権セミナーを開催します◆

SDGs ☆人も企業も輝くために
～人材確保×モチベーション up×明るい未来～

横浜市は「SDGs 未来都市」の実現に向け、さまざまな課題解決へ向け取り組んでいます。SDGsの内容は「人が生きること」と関連しており、人権尊重の考え方がベースにあります。持続的な開発目標と企業における人権課題の解決を結び付けることで、企業の未来を明るくするためのヒントをお届けします。

- ◎日時 令和2年1月17日（金）14:00～16:30（13:30開場）
- ◎会場 横浜情報文化センター 6F 情文ホール（横浜市中区日本大通11番地）
- ◎プログラム
- ・14:00～15:00 基調講演：SDGs時代を生き抜くために ～CSRと人権～
講師 横浜市立大学 都市社会文化研究科教授
横浜市立大学 CSRセンターLLCセンター長
かげやま まこや
影山 摩子弥 氏
 - ・15:00～15:40 事例発表：明日からできる！ 企業の先進事例とは
①株式会社 太陽住建 代表取締役 かわら ゆうき 河原 勇輝 氏
②ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社 代表取締役 きたじま たかゆき 北島 敬之 氏
 - ・15:50～16:20 ディスカッション
 - ・16:20～16:30 閉講

◎参加無料、事前申込制

講演者などの詳細は、裏面をご覧ください。

※取材を希望される場合は、当日受付までお越しください。

お問合せ先	
市民局人権課啓発等担当課長	井上 雄太 Tel 045-671-3561

裏面あり

企業経営に人権尊重の視点を持つことは、社員が成長する環境をつくることになると言われています。多様性を認めあうことで、人と人とのつながりが強くなり、社内外で良好なコミュニケーションを築くことができ、働きやすい職場が生まれます。また、働く人たちのモチベーションを高めることとなります。

ところで、中小企業などで会社を持続的に発展させるツールとして、今、SDGsが注目されています。それは、人権尊重を基調にした考え方でもあり、人権とSDGsを取り入れることで、市内企業のさらなる成長と発展が期待できます。

長年、企業をサポートしてきた講師による講演と、様々な取組をしている企業の事例を紹介しながら、人も企業も輝くためのアイデアをお届けします。

《講演者等の紹介》

影山 摩子弥 氏

静岡県浜北市（現 浜松市）に生まれる。

早稲田大学商学部卒。横浜市立大学商学部専任講師、助教授、教授を経て、2005年に横浜市立大学国際総合科学部教授に就任。2006年には横浜市立大学CSRセンター有限責任事業組合（2018年に法人化）センター長に就任し、現在に至る。

専門は、経済原論、経済システム論、地域CSR論。研究・教育の傍ら、海外や日本国内の行政機関、企業、NPO・NGOなど様々な組織からのCSRの相談にも対応している。

また、自治体が運用するCSRの認定制度として注目されてきた「横浜型地域貢献企業認定制度（横浜市）」「宇都宮まちづくり貢献企業認証制度（宇都宮市）」や、業界単位では初めてのCSR認定制度である「全日本印刷工業組合連合会CSR認定制度」の設計を担い、地域および中小企業の活性化のための支援を行っている。



株式会社 太陽住建

横浜市内に拠点を置く、住宅用・産業用太陽光発電装置の設置・販売や住宅リフォーム・リノベーションを行う施工会社。従業員8人という小さな企業でありながら、中小企業だからこそできるSDGsの取組を、より多くの人々と共有し、次の行動へとつなげていくことを目的のひとつとして活動しており、本業を通じながら、太陽光発電事業によるCO2排出量削減や障害者雇用の促進、リフォーム事業の一環とした空家の活用事業など、地域に根差した事業展開を行っている。

そうした経営戦略が評価され、現在、横浜型地域貢献企業認定制度プレミアム表彰を受賞している。

ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社

オランダとイギリスに本拠を置く世界有数の一般消費財メーカーであり、食品・洗剤・ヘアケア・トイレタリーなどの家庭用品を製造・販売する多国籍企業。さまざまな個性を持つ社員がお互いに信頼しあい、補いあい、刺激しあって相乗効果を埋める組織づくりを進めるとともに、社員の成長が企業の成長につながるような人材育成・活用を行っており、特にジェンダー・ダイバーシティへの取組を進めている。

